

浮舟島うきふねのしまは橋より貳町ばかり川上なり。〔弘安九年興聖菩薩橋こうしやうぼさつはしくやう供養くやうのとき、高さ五丈十三重の石塔婆を建る、近年洪水に漂流す〕

新拾 思ひかねうち宇治ちの河長こととはん身の浮舟もよるべありやと

頼

康